

農家に向けて、より安全な作業を紹介

収穫期を前に、農業機械展示会を開催



▲詳しい機能について担当者から説明を受ける

豊作の秋を目前に控え、JAあきた白神カントリーエレベーターで、8月22日と23日の2日間にわたり、農業機械展示会『秋のふれあい感謝デー』が開催されました。

会場には、メーカー自慢のコンバインやトラクター、草刈り機など様々な農業機械が並び、農業機械の買い替えや備品の購入を目当てに多くの農家が来場し、担当者からの説明を聞いて購入していきましました。また、農作業事故予防に向けて、作業安全講習会も開催され、参加者は作業点検内容を確認していました。



JA大豆生産組合が、圃場巡回を実施

収穫期を前に、各圃場の状態を確認



▲生育状況についてメモを取る生産者

JA大豆生産組合（高橋信男組合長）は、各生産者の大豆の生育を確認し、今後の栽培管理について検討する、大豆圃場巡回を8月26日に実施しました。

当日は生産者やJA関係者など約30名が参加し、生産者の圃場6か所を巡回視察しました。担当者は「播種・開花時期は平年より遅かったものの、その後の天気の影響で生育は順調。今後はマメシロイガや紫斑病など、病害虫の発生時期となるため、防除に努めてほしい。」と呼びかけ、生産者は栽培管理について情報交換を行っていました。



全県一をかけて、各JA代表が戦う

好ゲームが繰り広げられた、第46回JA秋田野球大会



▲熱戦の末、準優勝に輝いた選手たち

JA秋田役職員連盟とJA秋田4連が主催する第46回JA秋田野球大会が、8月28日に秋田市の八橋球場で開催され、地区予選を勝ち抜いた4チームがしのぎを削りました。

当JAは一回戦でJA秋田ふるさとと対戦し、5対1で勝利しました。そして決勝は、昨年同様にJA秋田おぼこと対戦となりました。試合は中盤まで0対0のまま進み、5回表にわずかなチャンスから、JA秋田おぼこが得点をあげました。その後、当JAも反撃を試みましたが、相手の好投にも阻まれ、惜しくも優勝を逃しました。

